

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	資料収集整理事業									
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子		
会計情報	事業コード	630301	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計 決算付属資料 248 頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる						
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業									

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	資料の収集は図書館の根幹であり、資料収集方針に則り、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵し、利用者の学習意欲や知る権利を満たす。特に子どもの読書活動推進計画に沿って、絵本や児童書を充実させ子どもたちがより読書に親しめる環境づくりを促進する。郷土資料など地域の情報を整理保存して「地域の情報ステーション」となるとともに、通勤・通学・商業の拠点として三たん地域の住民の需要に応える蔵書を確保し、図書館利用による集客を促進する。								
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者		対象者数	695,800	単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等	株式会社図書館流通センター								

事業概要 (箇条書き)	中央館及び三和分館・夜久野分館・大江分館の地域に根ざした特色ある図書館づくりを進めるため、地域の情報、保存すべき資料、閲覧・貸出ニーズの高い資料を中心に、幅広い分野から計画的に図書を購入・所蔵する。 所蔵資料を検索・閲覧・貸出可能な有用な状態に整理する(ICタグにより電子情報と結び付ける)。利用者が見望む資料にたどり着けるよう、展示方法を工夫し、案内し、調査の支援を行う。								
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容		
	備品購入費	17,347	閲覧用図書購入		
需用費	2,777	雑誌購入費、新聞購読料			
委託料	1,840	書誌データ・ICタグ作成業務委託料			
使用料及び賃借料	1,213	総合レファレンスオンラインデータベース賃貸借、新聞記事オンラインデータベース賃貸借			

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	27,057	23,368	19,898	19,239
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	27,057	23,368	19,898	19,239	
予算財源内訳	① 一般財源	16,834	13,703	14,198	13,539
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	0	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	10,223	9,665	5,700	5,700
決算情報	① 流充用額	△ 1,514	0	0	0
	② 配当予算	25,543	23,368	0	0
	③ 執行額	25,078	23,178	0	0
	④ 執行率	98.2%	99.2%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.13/2.15	1.09 / 2.20	1.09 / 2.20	0.00 / 0.00
	② 概算人件費	14,415	14,220	14,220	0
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	39,493	37,398	14,220		

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	9,513	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	年間来館者数(全館)	人	265,334/300,000	253,492/330,000	230,740 / 330,000	/ 330,000	/ 330,000	330,000
実利用人数(貸出人数)	人	11,797/12,100	12,375/12,200	12,336 / 12,200	/ 12,200	/ 12,200	12,200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標	
	年間資料貸出冊数(全館)	冊	634,336/540,000	633,409/600,000	595,855 / 600,000	/ 600,000	/ 600,000	600,000
	単位あたりコスト		0.04	0.00	0.04			
	蔵書点数(全館 寄贈受入含む)	点	287,148/288,000	308,411/297,000	316,868 / 315,000	/ 315,000	/ 315,000	315,000
単位あたりコスト		0.09	0.10	0.07				

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	情報収集・発信の役割及び様々な資料の保存場所として、長年にわたり市民や社会のニーズに添えてきており、今後も豊富な資料を備えてその役割を果たすことは必要である。より魅力的な図書館を目指すために、新鮮で豊富な資料が必要であり、蔵書や利用の状況を見ながら計画的に収集していくことで、多くの市民に利用いただけるものとする。
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	図書購入は、毎年入札により契約しており、最も効率よく低コストで購入できている。図書の新規購入以外に、市内の分館や京都府内の図書館との相互貸借制度を活用し、本を相互に流通させて有効活用している。利用促進に向けて、タイムリーな話題や工夫を凝らした特集展示を実施している。特集展示などについて新聞社へ積極的に広報を行い、効率的に図書資料のアピールを進めることができた。庁内・庁外の機関と連携した各種展示を図書館内で行うことにより、図書館利用者数の増加を図った。雑誌スポンサー制度の導入により多くの雑誌の寄贈を受け、コスト削減ができた。
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	新中央館の新館効果が薄れて定着期に入っているため、成果目標の達成は困難な状況にある。新たな利用者を図書館に呼び込むための手法の検討や情報発信などを継続して行う。活動実績は見込みに沿っており、図書購入等の投資に見合った結果が得られている。雑誌スポンサー制度の導入や他部署との連携を進めており、今後も外部資源の活用を行う。
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>本事業は図書館の本質にかかわる事業であり、蔵書の充実度や構成は指標(来館者数・貸出冊数)に確実に影響する。しかし影響は即座に現れず数年程度の遅れがあると思われる。</p> <p>新中央館の新館効果と書架の大幅な拡大により利用が増えたが、現在は毎年減少傾向にあり、新規利用者を増やすための方策が必要であり、現在実施している、利用促進に向けた、タイムリーな話題や工夫を凝らした毎月の特集展示の実施、それに伴う情報発信の強化は評価できる。</p> <p>さらに、三たん地域の住民による利用も多く、通勤・通学・買い物で本市を訪れる方の集客に一定の効果が認められる。雑誌スポンサーからの雑誌の提供が、80誌・約80万円の費用削減につながったことは、評価できる。全国有数の明智光秀関連資料を整備し公開に至ったことは、評価できる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>新規利用者及び図書館への来館者が増えるよう、市内各種イベントと連携した企画、展示などに更に取組み、情報発信に継続して取り組む。</p> <p>さらに、有用で保存価値のある資料、地域や世の中の流れに沿ったニーズの高い資料をタイムリーに提供するなど、利用者の多様なニーズに添える蔵書を構成する。</p> <p>今後も明智光秀関連資料など、郷土資料を精力的に収集・整理し、地域情報の拠点として機能を強化する。</p> <p>来館者が適切な資料を探し当てられるよう、レファレンス機能の充実など職員の資質向上に努め、お客様サービスの向上を図る。</p> <p>平成30年度からスタートした福知山公立大学図書館及び近隣市図書館との連携等、相互の図書館利用をPRし、相互利用を促進する。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性														
事業名	中央館運営事業													
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子						
会計情報	事業コード	630302	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	248	頁	
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる										
計画期間	開始年度	昭和21年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名									
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例													
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )													
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合													
関連事業	資料収集整理事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館中央館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。												
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者					対象者数	695,800		単位あたりコスト	0.1			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	(社)福知山市シルバー人材センター、NECネクサソリューションズ(株)関西支社、日本ファイリング(株)大阪支店												
事業概要 (箇条書き)	・図書館機能を充実し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・関係機関・関係団体と連携し、北近畿の中核となる図書館サービスの拡充を図る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	賃金	23,935	臨時職員雇用経費										
	需用費	2,835	図書用消耗品、移動図書館車燃料費 新型コロナウイルス感染症対策用消耗品 等										
	役務費 ほか	1,049	通話料、郵送料、移動図書館車車検 ほか										
	委託料	5,272	図書館情報システム及び機器保守料、移動図書館車巡回及び配本業務委託 等										
	使用料及び賃借料	3,956	図書館情報システム使用料、複写機使用料 等										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	39,934	37,105	38,018	37,741				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	39,934	37,105	38,018	37,741					
予算財源内訳	① 一般財源	39,785	36,938	37,851	37,574				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	149	167	167	167				
決算情報	① 流充用額	△ 122	62	0	0				
	② 配当予算	39,812	37,167	0	0				
	③ 執行額	38,608	37,047	0	0				
	④ 執行率	97.0%	99.7%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	4.12/2.27	4.21 / 2.29	4.21 / 2.29	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	38,635	39,405	39,405	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	77,243	76,452	39,405						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	コピー代	種類	雑入	実績金額	95	決算付属資料	46	頁
	特財名称	利用券再交付料	種類	雑入	実績金額	72	決算付属資料	46	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間来館者数	人	238,778/272,300	229,587/302,300	204,943 / 302,300	/ 302,300	302,300
実利用人数(貸出人数)	人	11,797/12,100	12,375/12,200	12,336 / 12,200	/ 12,200	12,200	
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	574,677/479,000	579,966/539,000	534,875 / 539,000	/ 539,000	539,000
	単位あたりコスト		0.08	0.10	0.07	/	
	単位あたりコスト				/		

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。</li> <li>福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。</li> <li>バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実は、民間業者では厳しい。</li> <li>令和元年9月に実施した図書館利用者アンケートでは、総合的に利用者満足度は高く、一定の評価が得られた。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。</li> <li>分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>新中央館の新館効果が薄れて定着期に入っているため、現状のままでは目標達成は困難である。</li> <li>新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取り組みを実施し、一定の成果を上げている。今後においても継続的な取り組みを行う。</li> <li>各種イベントや企画展示等の連携事業の実施にあたっては、市の各部署や福知山公立大学、他市図書館のほか、各種団体や個人の協力を得ている。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>新中央館開館から6年目となり新館効果が薄れ、入館者数が年々減少傾向にあり、図書館に人を呼び込むための方策が必要である。令和元年9月に実施した図書館利用者アンケートでは、総合的に利用者満足度は高く、一定の評価が得られた一方で、広報面の強化が課題であることがわかった。</p> <p>また、福知山公立大学、北部7市町図書館、丹波市・朝来市との3市図書館連携、福知山産業支援センターや北京都ジョブパークとの連携による利用者サービスの充実が評価できるものである。</p> <p>さらに、新たな利用者を図書館に呼び込むための様々な取り組みの実施と広報により、図書館の認知を広めていることは評価できる。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>住民の知る自由を保障することは、公立図書館の重要な責務である。この責務を果たすため、職員研修を定期的に行うとともに、外部研修を受講することで専門性を高め、地域の情報ステーションとして質の高い図書館サービスを提供する。</p> <p>図書館利用者増加に向けて、新規利用者を図書館に呼び込むための新たな取組の実施と情報発信を、今後も継続実施する。</p> <p>令和元年9月に実施した図書館利用者アンケートの結果を踏まえ、利用者にとってもよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに寄り添ったサービスの展開や、課題解決につなげるための方策についての検討が必要である。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	三和分館運営事業												
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子					
会計情報	事業コード	630303	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	248・250	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業、三和分館空調改修事業												

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館三和分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。								
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者			対象者数	695,800	単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	・図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	1,720	臨時職員雇用経費						
	需用費	29	図書用消耗品						
	役務費	125	通話料、インターネット回線						
	使用料及び賃借料	87	複写機使用料						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,062	2,062	2,161	2,114				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	2,062	2,062	2,161	2,114					
予算財源内訳	① 一般財源	2,062	2,062	2,161	0				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	1,604	△ 99	0	0				
	② 配当予算	3,666	1,963	0	0				
	③ 執行額	3,561	1,961	0	0				
	④ 執行率	97.1%	99.9%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.09/0.75	0.08 / 0.75	0.08 / 0.75	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,595	2,515	2,515	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,156	4,476	2,515						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間来館者数	人	5,924/5,500	5,600/5,500	6,358 / 5,500	/ 5,500	5,500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	14,990/15,000	15,018/15,000	16,089 / 15,000	/ 15,000	15,000
	単位あたりコスト		0.13	0.20	0.12	/	
	単位あたりコスト				/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。</li> <li>・福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。</li> <li>・バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実、地域の特色を生かした図書館の運営は、民間業者では厳しい。</li> <li>・高齢化が進む中、地域の図書館としての存在意義は高い。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。</li> <li>・中央館・夜久野分館・大江分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。</li> <li>・地域の行政防災無線を活用し、図書館イベントや特集展示など、地域住民への広報を効率よく行っている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者数、貸出冊数とも、ほぼ横ばいの状態が続いており、一定数の利用者が継続利用されているものと推測する。</li> <li>・さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。</li> <li>・初めて開催した「みわとしょかんまつり」は、多くのボランティアとの連携により実施し、130人の参加があった。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	地域の住民が減少している中で、来館者数・貸出冊数ともほぼ目標には到達している。新たな利用者の獲得が課題である。地域の情報収集や知識習得の場として、三和分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考える。		
これまでの課題及び今後の方向性	令和元年度に初めて開催した「みわとしょかんまつり」は、地元のボランティアを中心に多くの協力者を得て開催することができた。「初めて三和分館に来た」という参加者も多く、三和分館を知ってもらいきっかけになった。今後も各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館の利用促進に向けてPRを強化し、読書活動の推進を図る。		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合              (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合              (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	夜久野分館運営事業												
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子					
会計情報	事業コード	630304	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名								
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館夜久野分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。									
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者			対象者数	695,800		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
委託先・実施主体等										
事業概要 (箇条書き)	・図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。									
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容							
	賃金	3,435	臨時職員雇用経費							
	需用費	177	図書用消耗品、天井灯修繕							
	役務費	95	通話料、インターネット回線							
	使用料及び賃借料	74	電子複写機賃借料							

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)		
予算情報	① 当初予算	3,907	3,798	3,719	3,643	
	② 補正予算	0	0	0	0	
	③ 繰越予算	0	0	0	0	
	前年度繰越	0	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0	
小計(①～③)	3,907	3,798	3,719	3,643		
予算財源内訳	① 一般財源	3,907	3,798	3,719	3,643	
	② 国支出金	0	0	0	0	
	③ 府支出金	0	0	0	0	
	④ 地方債	0	0	0	0	
	⑤ その他特財	0	0	0	0	
決算情報	① 流充用額	△ 41	△ 15	0	0	
	② 配当予算	3,866	3,783	0	0	
	③ 執行額	3,708	3,782	0	0	
	④ 執行率	95.9%	100.0%			
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0.75	0.08 / 0.75	0.08 / 0.75	0.00 / 0.00	
	② 概算人件費	2,515	2,515	2,515	0	
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	6,223	6,297	2,515			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間来館者数	人	12,503/14,500	13,179/14,500	12,210 / 14,500	/ 14,500	14,500
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	年間資料貸出冊数	冊	24,695/ 26,000	24,640/26,000	25,604 / 26,000	/ 26,000	26,000
	単位あたりコスト		0.15	0.20	0.15	/	
	単位あたりコスト				/	/	
	単位あたりコスト						

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。</li> <li>福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは増加傾向にある。</li> <li>バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実、地域の特色を生かした図書館の運営は、民間業者では厳しい。</li> <li>高齢化が進む中、地域の図書館としての存在意義は高い。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の図書館登録・利用者の割合が増えることが望ましい。</li> <li>中央館・三和分館・大江分館や京都府内の図書館と連携し、本を流通させて有効活用している。</li> <li>地域の行政防災無線を活用し、図書館イベントや特集展示など、地域住民への広報を効率よく行っている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数、貸出冊数とも、ほぼ横ばいの状態が続いており、一定数の利用者が継続利用されているものと推測する。</li> <li>さらに新たな利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。</li> <li>「おはなし会スペシャル」や「大人のためのおはなし会」の実施にあたっては、ボランティア団体の協力を得ている。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域の住民が減少している中で、来館者数・貸出冊数とも目標に達していないが、貸出冊数は微増となっている。新たな利用者の獲得が課題である。</p> <p>地域の情報収集や知識習得の場として、夜久野分館は欠かせないものであり、今後も引き続き、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者ニーズを把握し、それに応えていくことが大切であると考えます。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>夜久野分館独自のイベントである「本の福袋」や「大人のためのおはなし会」は好評であり、一定の集客効果が得られているため継続実施する。より多くの利用者に来館いただき、利用者一人あたりの貸出冊数を増加するために、利用者の興味を引きつけるための特集展示を行うなど、さらに具体的な方策を検討し実施する。</p> <p>他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、分館の利用促進に向けてPRを強化し、読書活動の推進を図る。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性										
事業名	大江分館運営事業									
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子		
会計情報	事業コード	630305	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計 決算付属資料 250 頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる						
計画期間	開始年度	平成18年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名					
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例									
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合									
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業									

II 事業基礎情報									
事業目的 (あるべき姿)	公立図書館として、図書館大江分館において安定した図書館サービスを提供し、市民にとって地域の情報収集や知識習得の場として、魅力ある図書館として運営していくことを目的とする。								
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者		対象者数	695,800		単位あたりコスト	0.0		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )								
委託先・実施主体等									
事業概要 (箇条書き)	・図書館サービスの充実・向上を目指し、利用者がよりよく課題を解決するための利用や、主体的な学習活動・読書活動の充実を図るため、利用者ニーズの把握や利用環境の整備に努める。 ・より多くの方に利用していただくため、積極的な情報提供・情報発信や啓発を行うとともに、関係機関・関係団体と連携し、地域の拠点施設としての図書館サービスの拡充を図る。								
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容						
	賃金	1,876	臨時職員雇用経費						
	使用料及び賃借料	101	複写機使用料						
	役務費	95	通話料、インターネット回線						
	需用費	22	図書用消耗品						

III 予算執行状況									
区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	2,038	2,066	2,149	2,543				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①～③)	2,038	2,066	2,149	2,543					
予算財源内訳	① 一般財源	2,038	2,066	2,149	2,543				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	0	0	0	0				
決算情報	① 流充用額	33	28	0	0				
	② 配当予算	2,071	2,094	0	0				
	③ 執行額	2,074	2,094	0	0				
	④ 執行率	100.2%	100.0%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.08/0.6	0.06 / 0.75	0.06 / 0.75	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	2,140	2,355	2,355	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	4,214	4,449	2,355						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁			

IV 業績指標							
成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間来館者数	人	8,129/7,700	5,126/7,700	7,229 / 7,700	/ 7,700	7,700
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	年間資料貸出冊数	冊	19,974/ 20,000	13,785/20,000	19,287 / 20,000	/ 20,000	20,000
	単位あたりコスト		0.10	0.15	0.11	/	
	単位あたりコスト				/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>公立図書館は乳幼児から高齢者まで、住民すべてが情報や知識を得ることのできる必要不可欠な場である。</li> <li>福知山市民だけでなく、三たん地域の利用者のニーズは高い。</li> <li>バリアフリー資料、障がいのある人への読書支援の充実、地域の特色を生かした図書館の運営は、民間業者では厳しい。</li> <li>高齢化が進む中、地域の図書館としての存在意義は高い。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の人口に比較して、図書館登録・利用者の割合がもっと増えることが望ましい。</li> <li>中央館・三和分館・夜久野分館や京都府内の図書館と連携し本を流通させて有効活用している。</li> <li>地域の行政防災無線を積極的に活用し、図書館イベントや新刊圖書のPRなど地域住民への広報を効率よく行っている。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害による休館など想定外の事象に左右され、利用者数、貸出冊数とも、年によってばらつきが生じているが、成果目標の数値は理にかなない、一定の成果が得られている。</li> <li>令和元年度からリニューアルしており、さらに多くの利用者を図書館に呼び込むため継続的な取り組みが必要。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>地域の情報収集や知識習得の場として、大江分館は欠かせないものであり、リニューアルを契機に新たな館の情報発信に努め来館者数、貸出冊数が増加するよう工夫を行っている。</p> <p>災害など想定外の事象による休館があり、来館者数、貸出冊数とも不安定な状況が続いている。また、地域の住民が減少している中で、来館者数・貸出冊数とも目標達成に向け厳しい状況が予想される。</p> <p>これまで以上に、分館の特色を生かした図書館づくりを進めるとともに、利用者にとってよりよい図書館となるよう、利用者のニーズに応えていくことが大切であるとする。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>平成30年度に浸水被害を被り、翌年度から2階に場所を移し、浸水の恐れはなくなった。リニューアルオープンした大江分館へ、より多くの利用者に来館いただくために、特集展示やそれに合わせた情報発信など、新たな方策を検討し実施する。</p> <p>他部署や各種団体と連携して各種イベント等に出向くなど、これまで以上に、分館の特色を生かした図書館づくりなど分館の利用促進に向けてPRを強化し、読書活動の推進を図る。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

方針区分	評価を踏まえた見直し内容
<input type="checkbox"/> 事業の見直し  <input type="checkbox"/> 統合/組換  <input type="checkbox"/> 廃止/休止  <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>地域に根差した図書館として継続して大江分館の機能維持を図り、利用者が課題解決や学習活動・読書活動を行えるよう積極的な情報提供・情報発信や啓発に取り組む。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を行うなど、市民に読書の楽しみや学習機会が提供できるよう利用者環境の整備に努める。</p>

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合              (統合事業名: _____) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合              (統合先事業名: _____)

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業												
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子					
会計情報	事業コード	630308	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	平成6年度	終了予定年度	令和2年度	関連計画名	第2次福知山市子どもの読書活動推進計画							
根拠法令等	図書館法、子どもの読書活動の推進に関する法律(平成13年12月12日 法律第154号)												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続中 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業													

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	すべての市民に読書の楽しみを届け、学習機会を提供することで、読書活動の普及・図書館活動への理解と利用促進につなげるため、講座・講演会・研修会等の事業を実施する。具体的には、おはなし会や子ども向けのワークショップ、大人向けの読みきかせ等についての講演会やボランティア養成講座を開催することにより読書活動の推進を図る。												
対象者	乳幼児から大人まで	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.2								
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等													
事業概要 (箇条書き)	・講座・講演会事業としては、子ども向けには図書館内や出張の各種おはなし会、大人向けには読みきかせのボランティア養成講座や講演会・研修会等を開催する。 ・平成30年度から所管替えとなったブックスタート事業では、4か月健診時に絵本をプレゼントするとともに、ボランティアさんによる読みきかせを親子で体験してもらうことにより家庭での読みきかせにつなげるほか、図書館のおはなし会のチラシや利用券交付申請書を配布するなど、図書館利用の促進を図る。												
主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	報償費	298	ブックスタートボランティア謝礼 等										
	需用費	794	ブックスタートプレゼント絵本、絵本袋 等										
	役務費	3	ボランティア保険保険料										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	1,673	1,528	1,325	1,255				
	② 補正予算	0	0	0	0				
	③ 繰越予算	0	0	0	0				
	前年度繰越	0	0	0	0				
	次年度繰越	0	0	0	0				
小計(①~③)	1,673	1,528	1,325	1,255					
予算財源内訳	① 一般財源	65	93	92	127				
	② 国支出金	0	0	0	0				
	③ 府支出金	0	0	0	0				
	④ 地方債	0	0	0	0				
	⑤ その他特財	1,608	1,435	1,233	1,128				
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0				
	② 配当予算	1,673	1,528	0	0				
	③ 執行額	1,211	1,095	0	0				
	④ 執行率	72.4%	71.6%						
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	1.12/1.25	1.12 / 1.23	1.12 / 1.23	0.00 / 0.00				
	② 概算人件費	12,085	12,035	12,035	0				
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	13,296	13,130	12,035						
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	佐藤八重子記念子ども読書活動振興事業基金	種類	基金繰入金	実績金額	1,004	決算付属資料	40	頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	保護者による10か月児への読みきかせ実施率	%		94 / 90	92/90	94/90	95/90
図書館の児童書・絵本貸出冊数増加率	%		352,540/350,488	354,151/352,540	332,928 / 354,151	/	前年比5%増
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	おはなし会等実施回数	回	160 / 180	152/180	159 / 180	/ 180	180回
	単位あたりコスト		1.86	8.00	6.88	/	
	単位あたりコスト				/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間事業者でも事業者負担で実施することは可能だが、実績は少ない。</li> <li>・実績のある講師を招くことで、市民やボランティアの学習機会を確保している。</li> <li>・生涯を通じた読書の大切さ、とりわけ乳幼児期の読みかせの重要性は広く知られるところであり、ブックスタート事業などは特に優先順位が高い。</li> </ul>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなボランティアを育成し、そのボランティアが図書館や学校・地域で読みかせをすることにより、読みかせの裾野を広げ、読書活動の推進に貢献している。</li> <li>・読書や読みかせの啓発は一朝一夕にはいかず、効率的に進められるものでもないためコストの比較は難しいが、工夫しながら事業を実施している。</li> <li>・読みかせやボランティアの裾野を広げるため、参加者からの一定の費用負担は検討していない。また、費用負担がないことで、参加への(経済的・心理的)ハードルを下げ、参加者が確保できている面もある。</li> </ul>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果目標は、事業棚卸しを受けて見直した。</li> <li>・活動実績は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休館等により、3月に予定していたおはなし会がすべて中止となってしまったため、目標に到達しなかった。</li> <li>・図書館から地域に向いて出張おはなし会を行い、これまで図書館に来たことがない人に図書館や読みかせを知ってもらおうきっかけづくりをしている。</li> </ul>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>指標や「第2次福知山市子どもの読書活動推進計画」に基づき、事業を進めている。「保護者による10か月児への読みかせ実施率」から、乳児への読みかせが一定定着していることは、読書活動普及の点で評価でき、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>また、定例のおはなし会や各種イベントの回数を増やしたり、図書館見学を積極的に受け入れることで、児童書・絵本の貸出冊数の増加につながっていると評価できる。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校等に対応する支援策として、図書館の児童書や絵本を「緊急貸出セット」として小学校・放課後児童クラブに貸し出した。今後も利用者に寄り添ったサービスの提供を進めていく。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>すべての市民に本との出会い・読書の楽しみを届けるため、また、市民の多様な学習・課題解決を支援するため、今後は大人、特に、これまで図書館を利用したことがない方や図書館まで自分で来ることができない方に向けた取組や啓発を検討する。</p> <p>また、自分で図書館に来ることができない子どもに図書館を身近に感じてもらえるよう、子どもとその保護者に向けて情報発信していく。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減 <input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )
--------	---

# 福知山市 令和2年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性													
事業名	自動化書庫管理機等更新事業												
事業担当	所属	教育委員会 図書館					所属長	図書館中央館 館長 浅田 久子					
会計情報	事業コード	630343	款	10 教育費	項	05 社会教育費	目	03 図書館費	会計	01 一般会計	決算付属資料	250	頁
施策体系	施策コード	020102	施策名	図書館活動を充実させる									
計画期間	開始年度	令和元年度	終了予定年度	令和元年度	関連計画名								
根拠法令等	図書館法、福知山市立図書館条例												
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務の事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
R2現在の状況	<input type="checkbox"/> 継続中 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 <input type="checkbox"/> 他事業を統合												
関連事業	資料収集整理事業、中央館運営事業、分館運営事業(三和・夜久野・大江)、佐藤八重子記念子ども読書活動支援事業												

## II 事業基礎情報

事業目的 (あるべき姿)	図書館に設置している機器は、故障時に必要な部品調達が難しくなる中、OS保守も2020年1月に停止するなど、図書館利用者に対する安定的なサービスが難しくなっているため、最新の機器・OS等に更新する。 具体的には、図書館運営に使用しているパソコン端末機器についてWindows7、Office2010搭載のものは老朽化もしているため、機器・ソフトの更新を行い、同時に付随する機器もWindows10に対応したものへ更新し、システムトラブルなく図書館運営が円滑に行える体制を整える。												
対象者	福知山市民(在住、在学、在勤)・三たん地域在住者	対象者数	695,800	単位あたりコスト	0.0								
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 ( )												
委託先・実施主体等	NECネクサソリューションズ株式会社、日本ファイリング株式会社												

事業概要 (箇条書き)	・図書館システム用端末及び周辺機器等の更新を行う。更新機器のセットアップ、関連ソフトの設定作業を行い、機器更新前と同様に図書館システムが利用可能な状態にする。 ・館内設備である自動化書庫の管理用機器を更新し、更新機器のセットアップ、関連ソフトの設定作業を行って、機器更新前と同様に自動化書庫が利用可能な状態にする。												
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

主な支出に係る 業務内容と経費	支出に係る主な費目	支出実績(R1)	主な業務内容										
	委託料	9,983	図書館システムと自動化書庫管理機の更新機器のセットアップ、関連ソフトの設定等										
	備品購入費	7,251	図書館システム用端末、レシートプリンタ、パッケージソフト及び追加機器、ハンディターミナル式の購入等										

## III 予算執行状況

区分	H30(評価前年度)	R1(評価年度)	R2(本年度)	R3(要求年度)	
予算情報	① 当初予算	0	20,354	0	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	0
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①~③)	0	20,354	0	0	
予算財源内訳	① 一般財源		20,354	0	0
	② 国支出金		0	0	0
	③ 府支出金		0	0	0
	④ 地方債		0	0	0
	⑤ その他特財		0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	0	0	0
	② 配当予算	0	20,354	0	0
	③ 執行額	0	17,235	0	0
	④ 執行率		84.7%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員/嘱託職員)	0.36 / 0.03		/	/
	② 概算人件費		2,955		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)	0	20,190	0	0	

主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁
	特財名称		種類		実績金額		決算付属資料		頁

## IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	更新したシステム数	式			2 / 2	/	2
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	H29	H30	R1	R2	最終目標
	更新した機器・ソフトの数	式			7 / 7	/	7
	単位あたりコスト				2462.15	/	
	単位あたりコスト				/	/	

## V 事業担当部署評価

項目	評価の観点	評価	評価の理由
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か</li> <li>民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か</li> <li>目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か</li> </ul>	○	<p>図書館システム及び自動化書庫は、あらゆる図書館業務で利用されており、システムが使えなくなることは、図書館運営自体が停止することになり、利用者に多大な迷惑をかけることとなる。</p> <p>民間や市民では実施できない事業であり、図書館運営の根幹となるシステムの安定化は最優先で取り組む必要がある。</p>
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か</li> <li>他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか</li> <li>コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか</li> </ul>	○	<p>機器購入と設定作業を一括とせず別契約とすることで、入札を実施しコスト削減を図った。</p> <p>機器購入は一般競争入札による契約でコスト削減することができた。</p> <p>設定業務はシステムベンダーでないと履行できないため随意契約としたが、庁内アドバイザーから意見を聴き、業務内容を精査して、必要最小限の経費となるよう相手方と交渉してコスト削減を図った。</p>
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか</li> <li>活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか</li> <li>先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか</li> </ul>	○	<p>事業目的は達成されており、成果目標や実績も適切であると考ええる。</p> <p>契約を分割して入札を実施するなど、可能な限り経費節減を図ったうえで、当初の目的を達成できた。</p> <p>事業実施に当たっては、府内の他の図書館の状況も調べて実施した。</p>
事業の目的及び指標等の達成状況に対する定性的評価	<p>これまで、古い機器・ソフト等の使用に起因するシステム利便性の低下やトラブルが発生しており、特に遠く離れた分館でシステムトラブルが発生した時は対応に苦慮したが、本事業の結果システムが安定して運用できるようになり、目的は達成された。特にトラブルもなく事業は完了し、コストも見込額を下回った。</p>		
これまでの課題及び今後の方向性	<p>機器が新しくなったため、新機種では使い方がわからないことや、設定を変えたいことなどが発生している。こちらの使用しやすい状態にカスタマイズしていくため、設置業者と密に連絡を取ってより使いやすいシステムに改善していく必要がある。</p>		

## VI 他部署評価

事後事業評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>未整備の機器の台数や、次の更新時期などシステム全体の整備計画を立てて事業を進められたい。</li> <li>今後も、更新を続けるということであるが、実施計画を策定のうえ、事業費を見込み、適正な執行に努められたい。</li> <li>システムの更新にあたっては、利用者の利便性等を踏まえ、改善できるところは改善するという姿勢で取り組んでいただきたい。</li> <li>システムの維持管理について15,000千円/5年(随意契約)が必要としており、ランニングコストについても通年で分かるよう単年度事業でなく通年で分かるような事業としたほうが良いと考える。</li> </ul>
事中事業評価	

## VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	<input type="checkbox"/> 事業の見直し <input type="checkbox"/> 統合/組換 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	

## VIII 予算反映結果

予算反映結果	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算縮減
	<input type="checkbox"/> 他事業を統合 (統合事業名: ) <input type="checkbox"/> 他事業へ統合 (統合先事業名: )